

ときめき人

Tokimeki bito



木星に衝突する 隕石を捉えた アマチュア天文家

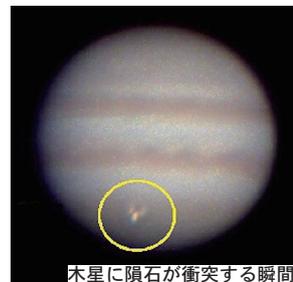
登米町・前小路出身

清野 和裕さん

せいのかずひろ
1950年生まれ 血液型/O型

Profile

仙台市在住。実家のある登米町で天体観測と家庭菜園をしながら、こどもたちに星の魅力を伝えるイベントも開催している。



木星に隕石が衝突する瞬間

8月29日、アマチュア天文家の清野さんが、木星に隕石が衝突する瞬間の撮影に成功した。

登米町で生まれ育ち、幼い頃から星に興味があったと話す清野さん。「中学生のときは、山で『池谷・関慧星』を撮影したり、友人や先輩と天文同好会を設立したりと、星の観察や探求に夢中でした」と当時を振り返る。社会人時代は多忙で天体観測から離れていたが、定年退職を機に登米町を拠点に再開した。初めは、街路灯の光や障害物の少ない田園などに出向いて観測していたが、より適した環境で星を観るため、山の上に「星の観測所」を設置。「時間を忘れて、一晩中夢中になります。特に、ほうき星が好きで、緑や青などのきれいで澄んだ光を放つものなど、自然が創り出す神秘的な現象

には驚かされます」と天体観測の魅力を語る。

「8月29日に焦点を当てていた惑星が偶然木星でした。知人から木星に巨大な隕石が衝突したと聞き、撮影していた映像を見返すと、白い閃光がはっきりと映っていて、後から、過去最大規模のものだったときはうれしかったです。天候や気流の状態が悪く、観ることのできなかつた熱心な観測者が多くいる中で、私が撮影できて恐縮です」と謙虚な姿勢を見せる。

「好きなことを継続してきたから、奇跡的な瞬間に出会えました。これからの人生を歩む皆さんは、いろいろなことに興味を持ち、豊かな人生を歩んでほしいです」と星に願いを込め、神秘的な瞬間と出会うために今夜もレンズをのぞく。

編集後記

▼サツマイモ掘りで、園児たちが持ち上げられないほどの大きさに驚いて、そんな園児たちを見て高校生も笑顔になったのが印象的でした。おいしそうだと食べることはばかり考えている私をよそに、園児と高年生の「採れたー」と収穫をよるこぶ声が秋晴れの空に響いていました。(高橋)

▼清野さんを取材。たくさん星や宇宙に関する話を聞きました。星の光は白や青などの落ち着いた色しかないと思っていました。が、緑の光を放つ慧星や赤い光を放つ星雲など、宇宙が色とりどりの光にあふれていることに驚きました。わくわくするお話をありがとうございました。(木戸浦)

▼「11月号の表紙の写真にほっこり。これからも広報を楽しみにしています」とのお便りをいただき、うれしすぎて小躍りしてしまいました。思いを言葉で伝えることの大切さを改めて教えてもらった気がします。(渡邊)



登米市公式ホームページ
<https://www.city.tome.miyagi.jp/>



登米市メール配信サービス
(防犯や防災、市政に関する情報などを配信)
<https://mail.cous.jp/tomecity/>



登米市公式 LINE
(市政、イベント情報などを配信)
<https://line.me/R/ti/p/%40972tqqam>